

# News Release

平成 28 年 10 月 31 日  
株式会社日本政策投資銀行  
代表取締役社長 柳 正憲

## (株)山野井に対し、 「DBJ BCM 格付」および「地域元気プログラム」 に基づく融資を実施

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）は、株式会社山野井（本社：鹿児島県南さつま市、代表取締役会長：山野井吉和、以下「当社」という。）に対し、「DBJ BCM 格付」および「地域元気プログラム」に基づく融資を実施しました。

「DBJ BCM 格付」融資は、DBJ が開発した独自の評価システムにより、防災および事業継続への取り組みが優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「BCM 格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

また、「地域元気プログラム」は、地域ごとの強みや潜在力を活かした成長を後押しする DBJ 独自の取り組みであり、南九州支店では、「南九州「食、健康、環境・エネルギー」先進地域化プロジェクト」をテーマに、鹿児島県および宮崎県の企業に対して、情報面・資金面でのサポートに取り組んでいます。

当社は、創業以来培ってきた技術と食肉加工の本場ドイツの技法を活かし、焼豚やローストビーフ等の加工・販売を手掛ける食品加工メーカーです。経営上のリスク管理の一環として危機管理マニュアルを策定し、有事における事業継続対策を継続的に進めています。

今回の DBJ BCM 格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 事業継続への取り組みを経営戦略として位置付け、トップマネジメント主導で有事の際の対応体制の検討に着手している点
- (2) 工場・本社において定期的に防災訓練や安否確認を実施し、防災体制の強化に取り組むと同時に、「危機管理マニュアル」を通じた全社員への防災意識の共有を図っている点
- (3) 対策本部別に、初動期、情報収集期、復旧準備期、復旧期のフェーズ毎に必要な業務の洗い出しを行い、有事の際の事業継続を視野に業務を事前整理している点

また、本件は、素材と手法にこだわって生み出された「マイスター山野井」の製品を全国の百貨店を通じて展開することで鹿児島の食のブランド化に貢献している当社の取り組みを、地域の先進的事例として評価し、「地域元気プログラム」の対象に認定したものです。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決でお客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現して

# News Release

いきます～」に基づき、有事における事業継続の推進や地域の成長に資するお客さまの取り組みを積極的に支援してまいります。

**【お問い合わせ先】**

南九州支店 業務課 電話番号 ０９９－２２６－２６６６